

# かわなみ

ただかす  
《中央区》

“わかりやすい!”をモットーに  
神戸市政に関わる  
トピックをお伝えします!

今回報告のトピック!

- 齋藤知事に、久元市長に、発言・要望しました
- 『JR元町駅のバリアフリー化 ● 『空飛ぶクルマ』』
- 神戸に国際的ラグジュアリーホテルを
- KOBE2024 世界パラ陸上は県市一体となって

2024年  
vol.44  
B4版



## 兵庫県・神戸市調整会議に出席 齋藤知事に、久元市長に、発言しました!

令和5年12月25日、令和5年度兵庫県・神戸市調整会議が開催され、私、河南(かわなみ)は、神戸市会副議長として出席。県と市と一体となって取り組んでいただきたい施策について発言・要望したので報告します。



神戸市会からは  
坊議長と河南が出席  
久元市長  
齋藤知事  
令和5年12月25日  
令和5年度兵庫県・神戸市調整会議



かわなみ  
発言・要望

## JR元町駅のバリアフリー化 1日でも早く実現を!

【河南(かわなみ)】

「都心エリアの更なる活性化」ということで、元町駅周辺に関しては、西口のバリアフリー化や南北の回遊性向上について、兵庫県が検討されていると以前から了解している。ぜひこれを1日でも早く実現していただきたい。

兵庫県庁を利用される兵庫県民の方の利便性が大きく向上するものであり、ぜひスピード感を持って、事業の支援・実施を行っていただきたい。

また、齋藤知事にお会いするたびに申し上げているが、元町駅の東口の方も、これはバリアフリー料金制度に基づいてJR西日本が、エレベーター設置をすることになっているが、やはり我々行政なり政治の方が「やってください」と声をあげていかないと、なかなか優先順位が高まらないと思う。

今、神戸市では、メリケンパークでいろいろな活動をしているが、バリアフリーがしっかり整備されていないと、高齢の方やお子さん連れが行きづらくなってしまいます。これはぜひ、兵庫県の方からもサポートいただければと思っている。

待ち遠しいね  
早く実現して欲しい



齋藤知事から  
前向きな発言を  
得られました!

【兵庫県/齋藤知事】

元町駅のバリアフリー化については、西口のみならず東口についても、引き続き働きかけをしていきたいと思っている。



久元市長から  
前向きな発言を  
得られました!

【神戸市/久元市長】

元町駅の東口のエレベーターは必須だと思っている。JR西日本も前向きに対応してくれそうな雰囲気もある。ぜひ兵庫県全体の中でも元町駅東口というのは、県庁の玄関でもあり、神戸市にとっても大事なところなので、県市が一緒にもう一回改めて強く要請するとしてはどうかと思うので、よろしくお願ひしたい。



←かわなみ市政報告42号でも  
JR元町駅のバリアフリー化について  
要望したこと報告しています

令和5年2月17日本会議(代表質疑)、令和5年3月1日予算特別委員会でも  
『JR元町駅のバリアフリー化』について質疑しています!

令和5年2月17日 本会議(代表質問)では、神戸市/小原副市長より以下の回答をいただいています。  
JR西日本からは、詳細は未定ではありますが、東口のエレベーター設置については、鉄道バリアフリー料金制度を活用して、2027年度末までには実施する予定とお聞きしています。



かわなみ  
発言・要望

## KOBE2024世界パラ陸上は県市一体となって

【河南(かわなみ)】

「スポーツの新展開に向けた取組」で、2024年5月には世界パラ陸上競技選手権大会が開催される。兵庫県から組織委員会事務局に3人の方が出向されているということだが、ぜひ観戦やボランティアなどの機会を通じて多くの方に参画いただき、県市一体となって大会の運営に尽力いただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたい。

【神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会】

開催時期/2024年5月17日(金)~25日(土) 競技会場/神戸総合運動公園ユニバー記念競技場  
参加選手数/約100か国・地域、約1,300人(見込み)



スマレゾカー



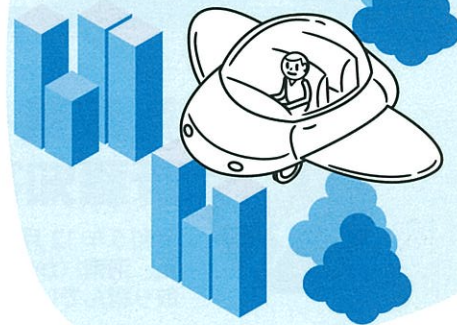
神戸市役所  
1号館1階ロビー

令和6年2月7日、「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」開幕100日前を迎えるにあたり、神戸市役所1号館1階ロビーにて、セレモニーが開催されました。大会組織委員会会長の増田明美さん、久元市長と一緒に、大会出場選手への声援フォトを全国を巡って集めてきた「スマレゾカー」を出迎えました。





## 『空飛ぶクルマ』未来予想図を



### 【河南(かわなみ)】

万博で空飛ぶクルマが飛ぶというのは、非常に未来的でワクワクしている。実証実験で尼崎市から飛ぶクルマは、何人乗りの予定か。

### 【兵庫県/守本企画部長】

イギリスのバーティカル・エアロスペース社製で、5人乗りであるが、ただすでに発表しており、万博時には乗客を乗せて運行する、いわゆる商用運航ではなく、あくまでデモフライトで、操縦者だけが乗る形になる。どんな形で空飛ぶクルマが飛ぶのかというのは皆さんにはご覧いただけるが、実際に乗っていただくことは、万博時には間に合わない。こういう状況である。

### 【河南(かわなみ)】

近い将来、空飛ぶクルマも飛ぶようになると、5人乗りが将来的には色々な汎用性があると私は思っている。ぜひ良い形で実現できればと思っており、頑張っていたきたい。

### 【兵庫県/齋藤知事】

空飛ぶクルマの関係では、我々、尼崎のフェニックス事業用地に暫定ポートをつくらせていただき、既にいくつかの社からここでどんどん実証実験をしたいという話が出ている。県が持っている土地で、周りは住居もなにもないので、どんどん実証実験してもらえればと思っている。また、この先の周遊などを考えていく中で、しっかり実証実験しながら、神戸港でも活用いただくなど、しっかり繋げていけたらと思っている。万博のときの商用運航は難しいが、ヘリで周遊させてもらった時は、本当に景色が素晴らしかった。空からの旅というものも非常に魅力がある。そういう意味でも、神戸港は海からも素晴らしいし、そこに空からというものも加われば、非常に世界中の人がワクワクするような、そんな環境整備ができるのではないかと考えている。



河南忠和(かわなみただかず)  
令和5年9月15日 都市交通委員会にて

令和3年1月には『空飛ぶクルマ』をeVTOL(イーブイトール)と言っていました！



かわなみ市政報告32号でも掲載

### 令和3年1月25日と令和5年9月15日の都市交通委員会でも『空飛ぶクルマ』について質疑しています！

#### ■令和3年1月25日 都市交通委員会では…(以下、要約)

【河南(かわなみ)】電動垂直離着陸機、いわゆるドローンが大きくなったようなものが公共交通のはざまに入ってきて進化していくだろうというのが—eVTOLと言っていますね—  
昔、神戸駅から鉄路が引かれて、馬による交通がなくなったと同じように、これは一気に来る可能性がありますので、ぜひ勉強していただきたいと思っております。

#### ■令和5年9月15日 都市交通委員会では…(以下、要約)

【河南(かわなみ)】2年前(令和3年1月)に、「荒唐無稽かもしれないが」と枕言葉を使っていたのが、荒唐無稽ではなく、現実にあつた2年後の大阪・関西万博では実現しようとしています。携帯電話と一緒に、5年10年すればどんどん加速度的な進歩になってくると思っております。  
空飛ぶクルマを使って神戸市が行うことって非常に多岐にわたると思っております。例えば都心から神戸空港や関西空港への移動や、救急医療での用途など。  
全庁的に神戸市として将来的な未来図を描く中に、空飛ぶクルマをもっと入れこんで、空港へのアプローチになるのか、どこからの発着地になるのか、民間事業者さんお願いしますではなく、逆に民間事業者に提案して、これを研究してもらえないか、というぐらいの勢いが私あつても良いのではないかと考えています。  
兵庫県の取り組みを見ていると、大阪府と取り組んでるような感じがします。もちろん関西空港もあるので大阪府さんともしっかりと取り組まねばならないと思っておりますが、神戸市ももっと一緒に取り組んでいただきたいです。



## 神戸にも 国際的ラグジュアリーホテルを

令和6年3月現在、建て替え工事中の、神戸市役所本庁舎2号館の上層部に、国際的ラグジュアリーホテルを誘致する計画があります。下層階に市庁舎と商業施設などが入り、複合施設となる予定です。

### 【河南(かわなみ)】

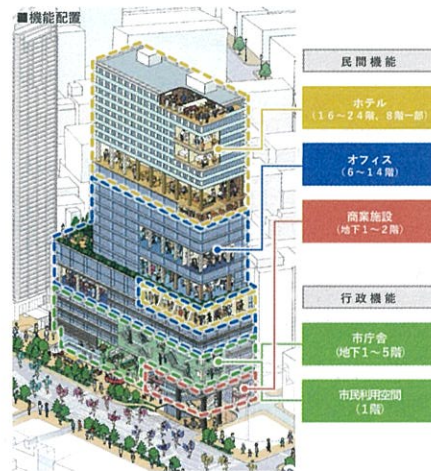
私自身がある国際機関の方と少し打ち合わせ、意見交換する機会があった時、「神戸のどこにお泊まりですか」とお聞きしたら、「いや、これから大阪に帰るんです」と言われた経験がある。理由は何かということ、インターナショナルなところにお泊りになれるということで、どうしても大阪のホテルを選ばれているというのが間近にわかった。国際的ラグジュアリーホテルに関して、その実現に向けて兵庫県の積極的なご協力をお願いしたい。

### 【兵庫県/原田産業労働部長】

ラグジュアリーホテルの支援についてお答えさせていただく。産業立地条例の中で、高級ホテルの立地に関して補助要件を設けている。例えば、客室面積とか、客室数、スイートルームの比率、あるいはMICE機能を有することなど、宴会場の面積要件も設けている。そのような要件を充足すれば、当然我々としても補助金の対象と考えている。

### 【神戸市/久元市長】

今の産業労働部長のお話も踏まえながら、補助金の要件に合うような設計ができないか、ぜひ検討したい。



※神戸市HP(最終更新日:2022年8月31日)神戸市役所本庁舎2号館再整備事業提案概要よりイメージ図抜粋  
※提案時のものであり、今後変更となる可能性があります







配達地域指定



# 中央区にお住まいのみなさまへ



"わかりやすい!"をモットーに  
神戸市政に関わる  
トピックをお伝えします!

神戸市会議員  
**かわなみ** ただかず  
《中央区》



## 兵庫県・神戸市調整会議に出席 齋藤知事に、久元市長に、発言しました!

令和5年12月25日、令和5年度兵庫県・神戸市調整会議が開催され、私、河南(かわなみ)は、神戸市会副議長として出席。県と市と一体となって取り組んでいただきたい施策について発言・要望したので報告します。

かわなみ  
発言・要望

開いた  
ページに  
続きます



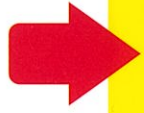
## JR元町駅のバリアフリー化 1日でも早く実現を!

元町駅の東口も、バリアフリー料金制度に基づいてJR西日本がエレベーター設置をすることになっているが、行政なり政治の方から「やってください」と声をあげていかないと、なかなか優先順位が高まらないと思う。



## 神戸にも国際的ラグジュアリーホテルを

インターナショナルなところに泊まるために、大阪のホテルを選ばれている声を聞いた。神戸にも国際的ラグジュアリーホテルを誘致するにあたり、兵庫県の積極的なご協力をお願いしたい。



## 『さんセンタープラザ』を建て替えるなら…

県庁舎の再整備に関して今後検討されるということだが、将来『さんセンタープラザ』の建て替えがあるなら、兵庫県庁を『さんセンタープラザ』に入っていたらどうか?



## KOBE2024世界パラ陸上は県市一体となって

兵庫県から組織委員会事務局に3人の方が出向されているということだが、観戦やボランティアなどの機会を通じて多くの方に参画いただき、大会運営に尽力いただきたい。



## 『空飛ぶクルマ』未来予想図を

昔、神戸駅から鉄路が引かれて、馬による交通がなくなったと同じように、一気にくると思います。近い将来、空飛ぶクルマも飛ぶようになると、5人乗りが将来的には色んな汎用性があると思っています。



神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団 市政報告

# かわなみ ただかず

《中央区》

2024年  
vol.44  
A版

# OPEN





# A JR元町駅のバリアフリー化 1日でも早く実現を！

【河南(かわなみ)】

「都心エリアの更なる活性化」ということで、元町駅周辺に関しては、西口のバリアフリー化や南北の回遊性向上について、兵庫県が検討されていると以前から了解している。ぜひこれを1日も早く実現していただきたい。

兵庫県庁を利用される兵庫県民の方の利便性が大きく向上するものであり、ぜひスピード感を持って、事業の支援・実施を行っていただきたい。

また、齋藤知事にお会いするたびに申し上げているが、元町駅の東口の方も、これはバリアフリー料金制度に基づいてJR西日本が、エレベーター設置をすることになっているが、**やはり我々行政なり政治の方が「やっください」と声をあげていかないと、なかなか優先順位が高まらないと思う。**

今、神戸市では、メリケンパークでいろいろな活動をしているが、バリアフリーがしっかり整備されていないと、ご高齢の方やお子さん連れが行きづらくなってしまいます。これはぜひ、兵庫県の方からもサポートいただければと思っている。



齋藤知事から前向きな発言を得られました！

【兵庫県／齋藤知事】

元町駅のバリアフリー化については、西口のみならず東口についても、引き続き働きかけをしていきたいと思っている。



久元市長から前向きな発言を得られました！

【神戸市／久元市長】

元町駅の東口のエレベーターは必須だと思っている。JR西日本も前向きに対応してくれそうな雰囲気もある。ぜひ兵庫県全体の中でも元町駅東口というのは、県庁の玄関でもあり、神戸市にとっても大事なところなので、県市が一緒にもう一回改めて強く要請するとしてはどうかと思うので、よろしくお願したい。



令和5年2月17日本会議(代表質問)、令和5年3月1日予算特別委員会でも『JR元町駅のバリアフリー化』について質疑しています！

令和5年2月17日 本会議(代表質問)では、神戸市／小原副市長より以下の回答をいただいています。JR西日本からは、詳細は未定ではありますが、東口のエレベーター設置については、鉄道バリアフリー料金制度を活用して、2027年度末までには実施する予定とお聞きしています。

▲かわなみ市政報告42号でも JR元町駅のバリアフリー化について要望したこと報告しています



# C 『さんセンタープラザ』を 建て替えるなら…

【河南(かわなみ)】

『さんセンタープラザ』がいずれ建て替えになるのかどうか、今後の方向性が定まってくると思われる中で、県庁舎の再整備に関して今後検討されるということだが、兵庫県庁に『さんセンタープラザ』に入っていたかどうかというプランも有ってはどうか?と私は思っている。ぜひ検討議題の1つに入れていただきたい。

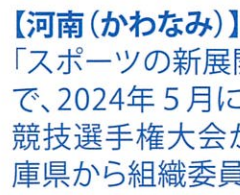
【兵庫県／齋藤知事】さんセンタープラザのご提案は、一応承っております。



# D KOBE2024世界パラ陸上は県市一体となって

【神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会】

開催時期／2024年5月17日(金)～25日(土) 競技会場／神戸総合運動公園ユニバー記念競技場  
参加選手数／約100か国・地域、約1,300人(見込み)



【河南(かわなみ)】

「スポーツの新展開に向けた取組」で、2024年5月には世界パラ陸上競技選手権大会が開催される。兵庫県から組織委員会事務局に3人の方が出向されているということだが、ぜひ観戦やボランティアなどの機会を通じて多くの方に参画いただき、県市一体となって大会の運営に尽力いただきたいと思います。



令和6年2月7日、「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」開幕100日前を迎えるにあたり、神戸市役所1号館1階ロビーにて、セレモニーが開催されました。大会組織委員会会長の増田明美さん、久元市長と一緒に、大会出場選手への声援フォトを全国を巡って集めてきた「スマレゾカー」を出迎えました。

# 兵庫県・神戸市調整会議に出席 齋藤知事に、久元市長に、発言しました！

令和5年12月25日、令和5年度兵庫県・神戸市調整会議が開催され、私、河南(かわなみ)は、神戸市会副議長として出席。県と市と一体となって取り組んでいただきたい施策について発言・要望したので報告します。



令和5年12月25日 令和5年度兵庫県・神戸市調整会議

# B 神戸にも 国際的ラグジュアリーホテルを

【河南(かわなみ)】

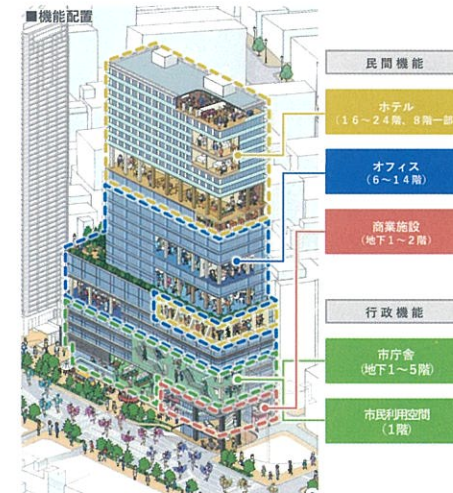
私自身がある国際機関の方と少し打ち合わせ、意見交換する機会があった時、「神戸のどこにお泊まりですか」とお聞きしたら、「いや、これから大阪に帰るんです」と言われた経験がある。理由は何かというところ、インターナショナルなところにお泊りになるということで、どうしても大阪のホテルを選ばれているというのが間近にわかった。国際的ラグジュアリーホテルに関して、その実現に向けて兵庫県の積極的なご協力をお願いしたい。

【兵庫県／原田産業労働部長】

ラグジュアリーホテルの支援についてお答えさせていただく。産業立地条例の中で、高級ホテルの立地に関して補助要件を設けている。例えば、客室面積とか、客室数、スイートルームの比率、あるいはMICE機能を有することなど、宴会場の面積要件も設けている。そのような要件を充足すれば、当然我々としても補助金の対象と考えている。

【神戸市／久元市長】

今の産業労働部長のお話も踏まえながら、補助金の要件に合うような設計ができないか、ぜひ検討したい。



※神戸市HP(最終更新日:2022年8月31日)神戸市役所本庁舎2号館再整備事業提案概要よりイメージ図抜粋 ※提案時のものであり、今後変更となる可能性があります

令和6年3月現在、建て替え工事中の、神戸市役所本庁舎2号館の上層部に、国際的ラグジュアリーホテルを誘致する計画があります。下層階に市庁舎と商業施設などが入り、複合施設となる予定です。





# 『空飛ぶクルマ』未来予想図を

■令和5年12月25日 令和5年度 兵庫県・神戸市調整会議で発言・要望した内容報告です

## 【河南(かわなみ)】

万博で空飛ぶクルマが飛ぶというのは、非常に未来的でワクワクしている。実証実験で尼崎市から飛ぶクルマは、何人乗りの予定か。

## 【兵庫県／守本企画部長】

イギリスのバーティカル・エアロスペース社製で、5人乗りであるが、ただすでに発表しているとおり、万博時には乗客を乗せて運行する、いわゆる商用運航ではなくて、あくまでデモフライトで、操縦者だけが乗る形になる。どんな形で空飛ぶクルマが飛ぶのかというのは皆さんにはご覧いただけるが、実際に乗っていただくことは、万博時には間に合わない。こういう状況である。

## 【河南(かわなみ)】

近い将来、空飛ぶクルマも飛ぶようになると、5人乗りが将来的には色々な汎用性があると私は思っている。ぜひ良い形で実現できればと思っており、頑張っていたきたい。

## 【兵庫県／齋藤知事】

空飛ぶクルマの関係では、我々、尼崎のフェニックス事業用地に暫定ポートをつくらせていただき、既にいくつかの社からここでどんどん実証実験をしたいという話が出ている。県が持っている土地で、周りは住居もなにもないので、どんどん実証実験してもらえればと思っている。また、この先の周遊などを考えていく中で、しっかり実証実験しながら、神戸港でも活用いただくなど、しっかり繋げていけたらと思っている。万博のときの商用運航は難しいが、ヘリで周遊させてもらった時は、本当に景色が素晴らしかった。空からの旅というものも非常に魅力がある。そういう意味でも、神戸港は海からも素晴らしいし、そこに空からというものも加われば、非常に世界中の人がワクワクするような、そんな環境整備ができるのではないかと考えている。



河南忠和(かわなみ ただかず)  
令和5年9月15日 都市交通委員会にて



令和3年1月には『空飛ぶクルマ』をeVTOL(イーブイトル)と言っていました!



かわなみ市政報告32号でも掲載しています

## 令和3年1月25日と令和5年9月15日の都市交通委員会でも『空飛ぶクルマ』について質疑しています!

■令和3年1月25日 都市交通委員会では…(以下、要約)

【河南(かわなみ)】電動垂直離着陸機、いわゆるドローンが大きくなったようなものが公共交通のはざまに入ってきて進化していくだろうというのが—eVTOLと言らしいですね—。昔、神戸駅から鉄路が引かれて、馬による交通がなくなったと同じように、これは一気に来る可能性がありますので、ぜひ勉強していただきたいと思ひます。

■令和5年9月15日 都市交通委員会では…(以下、要約)

【河南(かわなみ)】2年前(令和3年1月)に、「荒唐無稽かもしれないが」と枕言葉を使っていたのが、荒唐無稽ではなく、現実にあと2年後の大阪・関西万博では実現しようとしています。携帯電話と一緒に、5年10年すればどんどん加速度的な進歩になってくると思ひます。空飛ぶクルマを使って神戸市が行うことって非常に多岐にわたると思ひます。例えば都心から神戸空港や関西空港への移動や、救急医療での用途など。全庁的に神戸市として将来的な未来図を描く中に、空飛ぶクルマをもっと入れてこんで、空港へのアプローチになるのか、どこからの発着地になるのか、民間事業者さんお願いしますではなく、逆に民間事業者に提案して、これを研究してもらえないか、というぐらひの勢いが私あっても良いのではないかとと思ひます。兵庫県の取り組みを見てると、大阪府と取り組んでるような感じがします。もちろん関西空港もあるので大阪府さんもしっかりと取り組まねばならないと思ひますが、神戸市ももっと一緒に頑張って取り組んでいただきたいです。

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団

# かわなみ ただかず

《中央区》

道路整備や街の美化、公園、交通機関など暮らしの中で気になるチョット不便に思うこと、お住まいの地域のこともぜひお聞かせ下さい。

発行:自由民主党神戸市会議員団 かわなみ市政報告vol.44/A版 編集:2024年(令和6年)3月  
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846  
【かわなみ事務所】 〒651-0095 神戸市中央区旭通2-3-5 TEL.078-806-8633 FAX.078-806-8653  
■kobe.kawanami@gmail.com ■http://55kawanami.com





# 山下てんせい

西区の皆様、お世話になっております。  
今回は令和5年度下半期における話題について報告いたします。  
なお予算市会の内容については次回といたします。

市政に関するご意見はスマホカメラでQRコードを読み取っていただくと簡単です  
メールフォームに直接つながります→



山下てんせい

検索

## 自由民主党神戸市議員団 市政報告 vol.21

### UNITY 閉鎖問題への取り組み

◆神戸研究学園都市大学交流推進協議会の大学共同利用施設 UNITY について、令和5年10月に令和6年3月末での閉鎖が発表されました。  
それに伴い、施設利用による市民講座等が廃止されるという通知が受講生等に通知されました。  
このことを受け、山下てんせい議員はじめ、西区選出神戸市議員団は、関係者の要望に基づいて市長に要望書を提出いたしました。  
また自由民主党神戸市議員団からは、本会議や予算特別委員会など様々な局面で、市民の生涯学習の場を確保するよう要望する内容を質問してまいりました。その結果、語学講座は令和6年4月以降も、UNITY 施設の一部や神戸市外大のキャンパスを利用して継続実施することとなりました。



▲要望書を手交する山下議員

**Point!**  
UNITY 閉鎖後は、市民の交流・学び・活躍のプラットフォームとして活用します。  
(小原副市長からの答弁より)  
・(仮称)グローバルカレッジ 神戸市外大の専門性を活かし、地域貢献をする。  
・女性活躍推進の観点から、無料の一時保育機能を持つコワーキングスペースを設置。  
・子どもたちが学びの場として自由に使える空間を作る。

### トーホーストア撤退問題への取り組み

◆令和5年10月に発表された「トーホーストア」の閉店撤退報道を受け、西神ニュータウンをはじめ市内の様々な場所で不安の声が寄せられました。  
その後西区関連では、竹の台店（3月21日）、みかたプラザ店（3月31日）、かりばプラザ店（未定）の閉店が決定しております。

このことを受け敷地管理者であるこうべ未来都市機構は、地域住民への説明会を、竹の台地域福祉センター（2月4日）、美賀多台地域福祉センター（2月17日）にて開催しました。  
山下てんせい議員も、2月17日の説明会を傍聴させていただきました。

**現状**  
トーホーストア撤退発表後、リーシング統轄本部誘致推進部を中心として、スーパーマーケットやドラッグストア、またコンビニエンスストアの各企業に接触、誘致活動を行った。  
いくつかの企業から前向きな提案をいただいているものもあるが、おおむね苦戦している。

**住民からの問いや意見**  
・コンビニエンスストアも選択の一つだが、24時間営業は避けてほしい。  
・望んでいるのは毎日消費する生鮮食品やフレッシュフーズ等の中食である。  
・アイデアを募り、柔軟な発想で活用してほしい。

暫定利用も考慮すべき。  
・閉店した状態が長く続くのは、コミュニティの衰退につながるのを避けてほしい。

山下てんせい議員も、何とか空白期間を長引かせないよう、案内や後継業者紹介に努めております。



▲美賀多台のトーホーストア



▲70名程参加者が集った



甲南医療センターで起きた専攻医の過労自死事件について（令和5年10月18日）

◆令和5年8月、甲南医療センターで発生した専攻医の自死事件が報じられました。

その後10月の福祉環境委員会において、陳情第14号「甲南医療センターならびに神戸市内の医療機関に対する医師等医療従事者の労働環境の精査・指導に関する陳情」が、被害者のお身内の方から提出されましたので、山下てんせい議員も真摯に質疑しました。

**山下** この陳情の問題点は、病院側と労基署の認識に大きな隔たりがあるところにあります。労務問題の調査を行うべき主体は労働基準監督署ですが、保健所も医療安全を確保するための医療監視として立入検査を行っています。同時に労働の問題についてもふれることができるのではないのでしょうか。

**花田健康局長** 現時点ではその権限はない。ただし令和6年4月以降、改正医療法が施行され、その中で現行の保健所による医療監視の立入検査を通じて、各医療機関における医師の時間外・休日労働に関する実態把握および指導を行うという方針が示されている。



▲健康局審査において質問する山下議員

**山下** 令和6年4月以降の改正により、どのような事務権限が生じるのですか？

**花田健康局長** 厚生労働省による医師の働き方改革ハンドブックには、医療監視による具体的なチェック項目が示されており、また保健所がそのチェック項目について確認をすることにはなると想定される。ただし指導まで行う権限が保健所にあるのか、県にあるのか、きちんとした通知が出るまではわからない。

**Point!**  
この陳情の訴えることは全くもったもなことであり、しかし神戸市へ具体的な権限が与えられていない（労働基準行政は労基署、医療法に基づく医療従事者の勤務環境の改善促進は都道府県の権限です）ため、打ち切りとせざるを得ませんでした。保健所の業務である医療監視の立入検査においてこれまでは労務問題に触れる権限はありませんでした。しかし労働に関する実態把握や指導までできるようになることで、未然に防げる事態があるかもしれません。



▲数多くの報道機関もつめかけた

保健所の業務の1つである、医療安全確保のための「医療監視の立入検査」が注目される事件が立て続けに起きました。今回はその一端をご紹介します。

神戸徳洲会病院において発生した一連の医療事故について（令和6年2月16日）

**山下** 神戸徳洲会病院において、令和5年6月に発生しました心臓カテーテル検査・治療後の死亡事故隠ぺい、さらに11月に判明した糖尿病見落とし事案発覚等、事故が相次いでいます。神戸徳洲会病院に対する市の対応はいかがですか。

**花田健康局長**（6月の）カテーテル術後の予期せぬ死亡例については、国からも調査するようにとされているが、それをせず検証も行わなかったということで、医療安全管理体制に複数の問題点があることから、令和5年8月に行政指導を行った。その後行政指導を行った後の計画通りに進んでいるかチェックするため、保健所が11月に立入検査をしたところ、糖尿病の持病を見落とし、適切な医療を受けられず患者が死亡していたという例が、立入検査の中で発見された。

病院として、また同じように十分な検証は行っていなかった。このように繰り返し医療法に違反し医療安全体制に重大な不備を発生させたということは、病院の運営上著しく適性を欠いていると考えている。

よって医療安全体制の抜本的な、組織としての見直しが必要と考え、行政処分を行う必要があると判断し、改善措置命令を出す方向で検討を進めている。

（その後2月20日に、医療法に基づく改善命令が兵庫県として初めて発出されました）

**Point!**  
前述の、保健所による医療監視の立入検査が機能した好例ではないかと思えます。

誰もが安心して医療にかかる上で、このような医療安全管理体制の不備があるという事は、信頼を著しく毀損する、あってはならないことだと思います。

よって原因と対応策を確実にお示しいただき、失地回復に努められたいと願っております。



▲健康局審査において質問する山下議員



▲神戸徳洲会病院



神戸市会議員

# ひらの平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団  
神戸市中央区加納町6丁目5-1  
電話 331-8181 内線 7060



## こべっこランドへのキッチンカー誘致へ!

兵庫区のこべっこランドは、平日でも利用者は平均 1,200 人、土日には平均 2,500 人が来場。

来場される保護者からこべっこランドには飲食できる店があればとの要望をいただく。

来場者の満足度向上、そして地元経済の活性化の観点からこべっこランドに地元事業者中心にキッチンカーや飲食店ブースの誘致を!

(質疑内容は P2 に)



こべっこランド

## 兵庫運河の活動が最優秀賞 国土交通大臣賞を受賞!



全国海の再生・ブルーインフラ賞  
国土交通大臣賞



兵庫運河

一般財団法人みなと総合研究財団により令和5年度から新たに創設された「全国海の再生・ブルーインフラ賞」に兵庫運河での取り組みが最優秀賞である国土交通大臣賞に選ばれた。全国的にも先進的な取り組みであり、全国のモデルケースに。

## 保育士人材確保と離職率が高い園への助言や支援を!

園による保育士確保に高額な手数料がいる人材派遣会社に頼ることにならないように。

保育運営費を人材派遣手数料ではなく保育に!!

神戸市保育士・保育所支援センターを一層活用し保育人材を確保することが重要。人材マッチングの取り組み強化を。

(質疑内容は、P2 に)



厚生労働省の資料より

## 乳幼児の英語に触れる機会を作っては!

地域でネイティブレベルの英語力を持つ地元の保護者にプログラムの担い手として活動を依頼することにより、児童館での取り組みを増やし、新たなコミュニティもできるのでは?

(質疑内容は、P3 に)



## こべっこランドキッチンカー、飲食ブース出店について

(令和6年2月27日質疑)

**平野達司** 来場者の満足度向上、そして地元経済の活性化の観点からこべっこランドに地元事業者中心にキッチンカーや飲食店ブースの誘致ができるか？

**こども家庭局 岩城副局長** こべっこランドの来場者は、乳幼児とその保護者が多く、周辺の飲食店を利用するケースが少ない。キッチンカーの誘致や地元事業者や飲食店等のブース出店は周辺地域の活性化につながる。キッチンカー等の出店は、指定管理者や兵庫区役所、キッチンカー等を活用した事業の支援を行う経済観光局と連携を図り、周辺の地域団体や飲食店等の協力を得、地域の様々な意見も聞きながら検討する。



キッチンカー

## 保育士人材確保の手法について

(令和6年2月27日質疑)



こども家庭局 質疑にて

**平野達司** 保育人材確保は大変重要。その確保に人材派遣会社に頼ることも多く、本来保育に使われるべき運営費が、人材確保の手数料に過剰に使われていないか危惧している。神戸市保育士・保育所支援センターを一層活用し保育人材確保をすることが重要ではないか？更に人材マッチングの取組を強化していくべきではないか？

**こども家庭局 中山局長** 人材派遣会社を利用し、高額な派遣料や手数料を支払っていることは承知している。そのため、保育士・保育所支援センターの取組を強化していく必要がある。令和6年度は、保育士のみを対象を新たに栄養士や調理師、新卒も対象に広げ、ホームページを改善し、登録手続にホームページからダイレクトに登録、ホームページから求人情報閲覧できるよう変更する。園の見学随行、登録者へのヒアリングをよりきめ細やかな対応を行い、マッチング件数の大幅な増加に努める。

## 離職率の高い園への助言や支援について

(令和6年2月27日質疑)

**平野達司** 保育士の離職率の高い園について、離職防止に向けた助言などを行い、神戸市全体の保育の向上に繋げていく必要があるのでは？

**こども家庭局 中山局長** 離職状況も、来年度、把握できる取組を進める。より処遇改善や労働環境の把握もしやすくなると考えている。保育士の質の向上のため、園長会等で情報を共有、管理者向けの研修会の充実を図り、保育士の定着、確保、保育の質の向上に取り組んでいく。

## ポートアイランド第2期(西緑地)の海釣り含めた活用について

(令和6年3月1日質疑)

**平野達司** ポートアイランド(第2期)南西部の西緑地における親水エリアの導入に向けた取り組みにはどのような将来像が？

**港湾局 長谷川局長** 瀬戸内海、明石海峡が見える眺望を生かした交流レクリエーションとして空間コンセプトで現在事業を進めている。護岸には、海釣り機能の導入、緑地と護岸の間にデッキ整備、来訪者用の駐車場施設。橋梁整備含め施設運営担う事業スキームと民間事業者へヒアリングサウンディングも進める。



ポートアイランド西緑地将来イメージ

## 境界知能について

(令和6年2月27日質疑)

**平野達司** 知的障害ではないが、知的指数が一般より低い、IQが70以上85未満の方で、統計上全体の14%占める。境界知能に該当する方は、知的障害とはみなされず、周囲からも気づかれにくく、やる気がない、さぼっているなど見られてつらい思いをされている。境界知能について、情報収集・支援を行う必要があるのでは？

**こども家庭局 丸山副局長** 療育手帳の取得や知的障害と診断されたことで受けられるサービスがある一方、手帳や診断がなくても発達にしんどさを抱えて支援を必要としているお子様や保護者に対し、個々の相談内容に応じた支援を行っている。専門的な支援が必要な場合、こども家庭センターなどの専門機関に繋ぎ、18歳までの子供さんを対象に、障害の有無にかかわらず、保護者からの相談を受け、個々の子供さんの特性に合った対応方法などの助言を実施している。境界知能に関する子供さんや保護者の理解を、さらに深め、引き続き寄り添った支援を行っていく。

## 乳幼児の英語に触れる機会の創出について

(令和6年2月27日質疑)

**平野達司** 神戸市はいち早くALTを187名、全小・中学校に配置し、英語教育に力を入れている。当然、母国語も重要であるが、英語は様々な場面で必要であり、幼少期から英語に触れ、聞きなれることにより、将来、早い習得につながるのではないかと。兵庫区でも、英語を取り入れた音楽・遊びのプログラムを地域のネイティブレベルの英語力を持つ地元の保護者が実際に提供している例もある。その方にもプログラムの担い手として活動してもらえれば、児童館における取組も更に進み、保護者も集まりやすくなり、コミュニティも増えるのではないかと？

**こども家庭局 中山局長** 児童館で、英語学習をはじめ、地域の人材の英語協力のプログラムの充実を図るのは、児童館の魅力の向上につながる。既に外国語に触れる活動などを地域人材また高校生の協力を得てやっているが、さらに地域ごとの、地域の児童館の特色を生かした取組をさらに伸ばしていくためのインセンティブを、6年度から設定予定。国際的な感覚を育む体験、英語学習のプログラム、地域人材を活用した子育て支援、保護者同士のつながりの場なども加算メニューとしている。インセンティブを活用した英語学習、地域人材の活用は、児童館の運営支援を目的に各区に配置している子育てコーディネーターが、児童館と地域を結びつける役割を担うことができる。その様な取組事例を共有することで、取組が更に進むように促していく。

## 令和6年度から始まります

- 兵庫区の子育て含めたイベントについて“ためマップ”アプリが始まります。わかりやすく情報入手ができます！
- 育児用品配送のこべっこウェルカム定期便が始まります！  
(お子さんが生まれた世帯を対象に新たに月1回おむつやミルク等の育児用品を配達し、配達に合わせて声掛けや支援情報の提供等を含めた見守りが令和6年秋以降に計10回配達が始まります！)
- 神戸市民の神戸市内に通う高校生通学定期が今年9月より定期券全額補助！
- 中小中堅企業の住宅手当等補助金を新設！

## その他神戸市に継続要望

- 子供の居場所づくりに実施頻度に応じた支援策の検討を！
- 兵庫区に病児保育の設置を！

神戸市議員平野達司(たつじ)事務所  
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F  
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301  
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP

神戸市会の本議会、委員会を  
インターネットにて  
閲覧できます。



神戸市会



## 小売市場・商店街の駅ナカ出店について

(令和6年3月4日質疑)

**平野達司** マルシンマルシェの事業効果は？横展開は？

経済観光局 大畑局長 マルシェで購入後、実店舗へのお客様が増えている、土日祝日に若い世帯のお客様が増えた。マルシン市場の認知度を高めることに繋がっている。今後、他の市場商店街で同様の取り組みを実施したい意向があれば交通局とも連携し、円滑に進むように、幅広く支援していきたい。

経済観光局 井原部長 11月の開催時のアンケートを他の市場にも共有し横展開。小売市場連合会が様々な事業に取り組むため、SNSを活用し日々の営業やイベントを盛り上げる取り組みを行っている。



マルシンマルシェ



2024年3月4日経済観光局質疑にて

## 中央卸売市場の活性化について

(令和6年3月4日質疑)

**平野達司** 中央卸売市場は市民の台所として生鮮食料品を安定的に提供する神戸市の基幹的かつ重要なインフラだ。物流の2024年問題含め、様々な取り巻く環境変化の中でも、今後の安定的な運営をするために、現場の中央市場だけではなく、生産、流通、消費との連携を深めつつ、神戸空港の国際化による人と物の新しい流れを見越して観光もみすえ広く神戸市内全体で組織的に横断的に行っていただく必要があるのではないか？

経済観光局 大畑局長 中央卸売市場が持続的に役割を果たすための環境作りは非常に重要。卸売市場の物流の拠点性を高めて機能を強化していかなくてはならない。機能強化を通じ、新たな販路や販路を持つ事業者の新規参入を進めていくことも非常に大事。卸売市場は生産者と消費者を繋ぐ流通の要。

生産部門の農業振興による生産量の拡大、消費者に近い市場商店街への地元食材の消費の働きかけ、観光で域外からのお客様の消費の拡大などにより卸売市場の取扱量の拡大、これらが全て繋げていく事業である。

生産から消費そして観光を含めて一貫通貫で経済観光局一丸となり取り組んでまいりたい。



神戸市立中央卸売市場HPより



魚河岸デー

《歴史的遺産を活かした西国街道の観光振興についての質疑をしましたが、その質疑内容は、割愛させていただきます。》



令和6年2月21日 本会議にて

### ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

また市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は市当局への直接申入れ、お応えしてまいりました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するよう求めてきました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。

今回は、令和6年予算議会を中心に委員会での質疑の要旨をご報告させていただきました。



# うえなか 雅子

自民党 Lib Dems

まさこ

## ごあいさつ

まずは、元日に発生した能登半島地震の被災者の方々に、深くお見舞い申し上げ、一日も早い復旧・復興がなされることを心よりお祈りいたします。

令和6年度予算案は、神戸空港の国際化や都市の成長を促し、好循環を創出するための取り組み、子育て支援の更なる充実等、暮らしの質を高める施策展開となっています。

自由民主党神戸市会議員団でも、年2回の各種友好団体（本年は33団体）との予算要望への意見交換会を開催し、物価高騰のためにご苦労が続く各種団体のご代表から、しっかりと現場の声をお聞きし、ご要望の実現に取り組んでいるところです。

来年は阪神淡路大震災から30年。国内外からの支援への感謝を忘れず、神戸が他の地域に貢献できる都市であり続けると共に、魅力的な国際都市として、さらなる飛躍に繋がるよう、精一杯の働きをしてまいります。

神戸市会議員 うえなか 雅子



政調会長として進行係を担当しています

各種友好団体との意見交換会にて(令和6年3月7日)

## SDGs(持続可能性)の視点に基づき「神戸2025ビジョン」に掲げる施策を積極的に展開

神戸市 令和6年度 予算の概要

### 1/ 市民のくらしと安全を守る

- 令和6年能登半島地震の被災地支援 (1億500万円)
- 震災30年関連事業 (2億7,145万円)
- 道路防災対策の推進 (55億7,227万円)
- 物価高騰に対する経済支援 (170億5,337万円)
- 防犯カメラの増設 (4億1,812万円)



### 2/ 人間らしい温かい街を創る

- 子育て世帯の経済的負担の軽減 (103億8,400万円)
- 保育環境の充実・保育人材の確保 (38億8,700万円)
- 中学校給食の全員喫食の実施 (37億8,844万円)
- 神鉄シーパスインのサービス向上 (1億9,659万円)
- こども・若者ケアラーへの支援 (3,362万円)

### 3/ 持続可能な神戸を創る

- 駅周辺のリノベーション  
鈴蘭台駅(38億4,840万円)、岡場駅(1億4,440万円)、谷上駅(200万円)
- KOBE里山SDGs戦略の推進 (6億2,300万円)
- 農村地域等の活性化と賑わいの創出 (4億2,800万円)
- SDGs推進体制の強化 (18億7,400万円)



### 4/ 活気と魅力あふれる神戸を創る

- 事業者の人材確保に対する支援 (2億7,320万円)
- 六甲山・摩耶山等の活性化 (7億3,200万円)
- 新北区文化センターの整備 (18億4,700万円)



### 5/ 新しい国際都市 神戸を創る

- 神戸空港の国際化への対応 (184億9,300万円)
- 陸海空の広域交通結節機能の強化 (333億8,200万円)



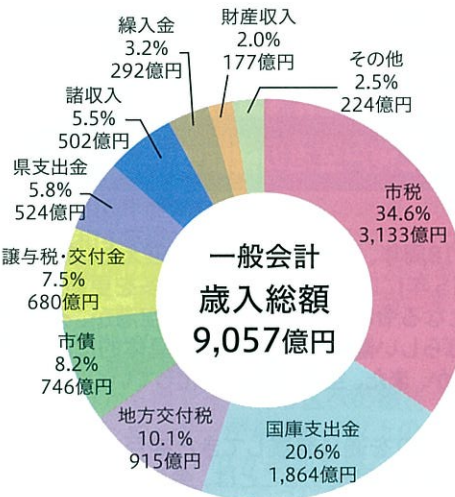
### 6/ DXの活用による参画を進める

- 行政手続きのスマート化 (8億9,789万円)
- マイナンバーカードの普及・利活用促進 (11億2,435万円)
- スマート区役所の推進 (7,868万円)

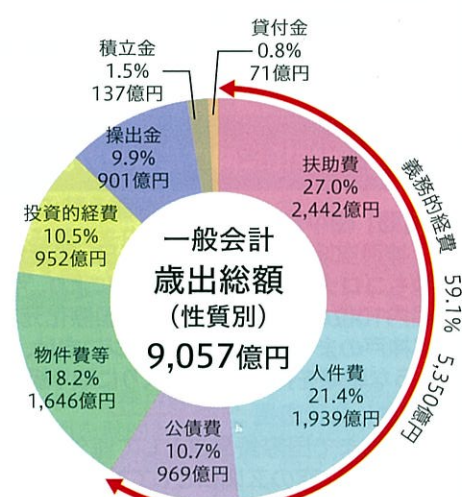


#### 予算提案額の概要(予算の規模)

	令和6年度	令和5年度	増△減	伸率(%)
一般会計	9,057億円	8,794億円	263億円	3.0
特別会計	6,711億円	6,803億円	△92億円	△1.3
企業会計	3,502億円	3,284億円	218億円	6.6
合計	19,270億円	18,881億円	389億円	2.1



一般会計歳入予算の概要



一般会計歳出予算(性質別)の概要



## 1 能登半島地震への対応、神戸市の防災対策について

**質問** 植中雅子

能登半島地震に対し、指定都市市長会や関西広域連合ともしっかりと連携しながら、現地に寄り添った支援をしていくことが何よりも重要である。阪神・淡路大震災の経験や知見がどう活かされているのか、支援の現状と今後の対応についてご見解をお伺いしたい。



**答弁** 久元市長

令和6年2月21日現在、計738人の職員を派遣をしている。また、震災の経験や、知見を生かす取り組みとして、震災当時、中堅幹部職員として市民の生活再建や、まちの復旧・復興などの業務を経験した市職員退職者6名を、先遣調査グループとして珠洲市や輪島市などに派遣をした。経験の継承ということでも意味があるのではないかと。

**再質問** 植中雅子

防災や復興に係る意思決定の場に、女性の参画を要望してきたが、どのような進捗があったか。能登半島地震も踏まえて、阪神・淡路大震災の30年を機に、改めて課題を見つめ直し、対応していくべきと考えるがどうか。

**答弁** 小原副市長

令和4年の防災福祉コミュニティの代表者会議において、避難所のリーダーに女性と男性の両方を配置し、避難者への物資の配布や避難所運営の意思決定の場に女性も参画できるように促している。

**要望** 植中雅子

防災会議等、有識者会議に関する指針における女性委員の割合の目標は、大体40%とされているが、女性の適任者の登用をぜひともお願いしたい。

**再質問** 植中雅子

南海トラフ地震が危惧される中で、大災害への備えとして、避難所や水道、道路などのインフラの二重、三重のバックアップ機能が不可欠である。市としてどのような対策を講じているのか。

**答弁** 久元市長

道路については、一般道と高速道路からなる、複数の経路から構成される緊急輸送道路ネットワークを構築している。橋梁の耐震補強や無電柱化にも取り組んでいる。神戸空港も、滑走路や誘導路、エプロンなど主要な施設は耐震対策を実施している。水道は、送水幹線と配水ルートの上二重化を図るとともに、大容量送水管の整備などにより、全市民26日分の貯水量を確保するなど、応急給水体制を整備している。港湾の護岸についても、防潮堤の整備を令和5年3月に完了した。さらに、津波対策として、防災鉄扉、水門を迅速かつ確実に閉鎖するための遠隔操作を進めており、令和6年度中に完了する予定である。

**再質問** 植中雅子

令和6年1月2日には、海上保安庁の航空機とJALの航空機が衝突する悲惨な事故が発生した。惨事におけるせめてもの救いは、JALの航空機について、乗客・乗員全員を避難させることができたことだが、これは平時の訓練のたまものである。改めて全市や各区の防災体制や防災訓練については、他都市や他団体の成功例を取り入れるなど、積極的に拡充し、実効性のある思い切った内容とすべきである。

**答弁** 小原副市長

震災30年を迎え、震災を経験した職員の減少による、災害時の対応力の減少も懸念される。全市の総合防災訓練については、従来の実施方法を変更し、訓練に先行して若手職員を中心に、他都市の大規模災害対応を学ぶケース・スタディなどの図上訓練を実施し、現状の各局室区の防災上の課題の洗い出しや防災体制の検討を行いたい。その結果を踏まえ、実動訓練を実施し、大規模災害時に初動体制がしっかりと構築できるかどうかを検証していきたい。

**要望** 植中雅子

若い方々の防災学習も非常に大事である。以前から震災経験都市の神戸であるからこそ、「全国少年消防クラブ交流大会」を、ぜひとも神戸で開催していただきたいとお願いしていたが、令和6年9月14・15日に、グリーンアリーナかユニバー記念競技場で開催される運びとなった。神戸市は25の防災ジュニアチームが活動されており、この大会を通じて、平素の訓練の成果を存分に発揮し、さらなる防災意識の高まりと、裾野への広がりにつながると大いに期待している。各県で行われる大会に参加するジュニアチームへ、さらなる支援もお願いしたい。

**要望** 植中雅子

有馬温泉の宿泊客の約2割が、インバウンドということである。神戸空港国際化によって、外国人観光客のさらなる増加が期待される中で、災害時の避難場所をどうしたらよいか、しっかりと検証していただきたい。

## 2 国際化に向けた神戸のまちづくりと神戸空港の機能強化について

**質問** 植中雅子

神戸空港は令和6年2月16日、開港から18周年、晴れの成人の日を迎えた。旅客数もコロナ禍から早期の回復により、令和5年には343万人と過去最多を更新し、国内10位の空港に成長した。国際化元年となる令和7年に向け、神戸空港が、そして神戸のまちが次なるステージに向け、すばらしい離陸ができるよう、具体的にどのような戦略を持ってまちづくりに取り組むのか、また、空港機能を強化していくのか。

**答弁** 久元市長

これまで国際貿易港として海外とのつながりを通じ発展してきた神戸市にとって、新たに空の玄関口として神戸空港の国際化が実現することは、今後のまちづくり戦略を展開していく上で非常に重要である。

空港の機能強化に向けては、エプロンなど、空港基本施設の拡張や、新ターミ

ナルの整備といった、空の玄関口にふさわしい施設整備を進めるとともに、新規エアラインの誘致や、神戸市以西の市場開拓、広域交通ネットワークの構築など、ハード・ソフト両面から全力で取り組みを進めていく。国際化する空港インフラを活用し、ビジネスや観光需要の創出、さらには教育、住環境といった外国人にとっても住み・学び・働きやすい環境整備など、幅広い観点から今後のまちづくり戦略を検討していく。国際都市として世界から選ばれる都市を目指すためには、例えば大学と連携した留学生の受入れ、外国高度専門人材の獲得と育成、国内外の企業間交流の促進、外資系企業の誘致、インターナショナルスクールや外国人との共生可能な住環境の整備など、神戸空港の国際化を契機とした今後のまちづくりについて、次期総合計画の策定とも連動させながら、検討を深めていきたい。

**再質問** 植中雅子

国際チャーター便の誘致については、議連などのネットワークを最大限活用し、台湾をはじめとして、様々な機会を通じて誘致に取り組んでいるが、国際化本部として、本年度の調査活動を踏まえて、今後どのような戦略をもって誘致に取り組んでいくのか。

**答弁** 今西副市長

マーケット戦略として、淡路を含む神戸以西や中・四国方面の航空需要の拡大とともに、ウォーターフロントや六甲山、有馬など、神戸の観光コンテンツや周辺都市の魅力あるコンテンツを、各国のエアラインなどにプロモーションしていく。陸・海・空のネットワーク戦略として、議会や経済界の皆様のご協力をいただきながら、各国のエアラインと交渉を進め、国際チャーター便の誘致を実現させていきたい。

**要望** 植中雅子

能登半島地震において、災害時には空港機能の重要性を再認識した。空港は公共財であって、収支や採算性といった観点では必要性を説明できない災害時の機能については、神戸市として、しっかりと取り組む必要がある。機能拡張と併せて、災害に強い空港づくりの予算を確保し、取り組みを進めていただきたい。

## 3 観光をきっかけにした人口減少対策について

**質問** 植中雅子

本市の人口減少対策として、他都市と限られたパイを奪い合う社会増を目指すことばかりではなく、結婚し、神戸に住み、出産し、子育てをする自前の自然増を図る施策も大事である。結婚願望を持ちながら、出会いの機会に恵まれない若者も多い。神戸観光をきっかけとして、そういう方々と本市との関係を構築すべきではないか。



**答弁** 今西副市長

人口減少社会に対応していくためには、市民にとっての暮らしの質を総合的に維持・向上させることで満足感を高め、結婚などによって神戸に転入した方々の後のさらなる定住に結びつけていくことが重要だと考えている。神戸を訪れた若年層が神戸で暮らし、結婚や子育てをするライフステージをイメージしてもらえよう、移住促進策と連携するとともに、民間事業者が持つPRツールも活用し、さらなる情報発信の強化に努めていきたい。

**要望** 植中雅子

結婚のその後ではなく、結婚のその前も考えていかないと、人口増加にはつながらない。神戸にはたくさんの出会いの場がある。県の出会いサポートセンターの勧めは、さんきたアモーレ広場、三宮センター街、神戸市役所、サンセット通り、メリケンパーク、須磨海浜公園など、神戸のことばかりである。観光とつなげるような形で、本市でも婚活支援を進めていただきたい。

## 4 保育環境の充実について

**質問** 植中雅子

令和5年、ある報道機関が政令指定都市などの180市区を対象に調査した、「共働き子育てしやすい街令和5年ランキング」で、本市は4位となり、前年の36位から大幅に順位を上げた。保育所整備等の待機児童対策や子供の遊び場拠点の整備など、本市が展開してきた切れ目のない子育て支援策に対する一つの評価である。今後も、子育てしやすいまちとしての、ブランド力のさらなる向上に期待しているが、予算編成では、どう反映されたのか。

**答弁** 小原副市長

老朽改築事業の補助額の上限を撤廃し、大幅に増額を図った。また、毎月の施設型給付費の申請に係る事務負担の軽減を図り、教育・保育に集中いただくため、市内451の教育・保育施設を対象に、施設型給付費の自動算定機能や問合せのためのチャット機能等を備えたクラウドサービスを導入する。4歳・5歳児の保育士の職員配置基準を、30対1から25対1へ改善するため、施設型給付費に加算措置を講じている。市独自で実施している、民間児童福祉施設給与改善費補助について、補助対象を小規模保育事業等に拡充・拡大した。さらに、新卒の保育士への一時金支給をはじめとした保育人材確保施策、6つのいいねについて、政令市や近隣市でトップレベルを維持している。

**再質問** 植中雅子

保育園におけるすこやか保育に対しては、公立幼稚園の再編が進む中、私立幼稚園において、さらなる環境の充実が求められており、国や県に補助制度の拡充を強く要望していくべきと考えるが、いかがか。

**答弁** 小原副市長

兵庫県の補助制度において、令和6年度予算では、受入れ児童が1人の場合でも年額78万円に引き上げられることとなった。



## ① 「コトノハコ神戸」の活性化について

**質問** 植中雅子

新神戸駅に隣接する「コトノハコ」は、閑散としており、神戸の顔の一つである新神戸駅にある施設として、ふさわしい状態であるとは言えない。これまで施設所有者や運営事業者にどのようなアプローチをしてきたのか。

**答弁** 山本都市局長

「コトノハコ」の現在の施設所有者は外資系企業で、日本国内に営業拠点もない。市の関連団体である神戸シティ・プロパティ・リサーチと連携し、運営事業者との個別の面談や、「コトノハコ」のリーシング事業者やANAクラウンプラザホテル、JR西日本等の駅周辺事業者と、定期的に議論する場を設け、オフィス誘致に積極的に取り組んでいる。令和6年度に「コトノハコ」の館内を通り、観光客に人気のある布引ハープ園や北野エリア方面へ向かう歩行者動線の誘導サインを強化して、館内を通る歩行者を増やすことで「コトノハコ」への集客につなげる取り組みから始める。



## ② 谷上駅の活性化について

**質問** 植中雅子

谷上駅はこれまでも駅前広場の整備を行ってきたが、いずれも細かい改善を施す小規模なものばかりで、今回の渋滞対策としての谷上橋の拡幅も、歩道と車道を少し広げる程度では、駅前の活性化を図ることにはならない。新たに土地を生み出すために、志染川に蓋をする以外にはない。県は河川の増水時の防災対策として蓋をすることはできないと主張されているが、具体的な基準があるのか。

**答弁** 山本都市局長

谷上駅前については、北区の玄関口にふさわしい空間となるような取り組みが必要だ。駅前広場の再整備や周辺の土地利用転換もしっかり見据えながら、着実に再整備の取り組みを進めることが重要である。まずは現状の交通混雑を解消する初めの取り組みとしては、谷上橋の拡幅の具体化から図っていく必要がある。河川の蓋がけについては、志染川を管理する兵庫県と協議を行っており、治水安全上などの理由から難しいと言われている。

**再質問** 植中雅子

5メートル拡幅したことで、渋滞対策にどれぐらいの効果があるのか。

**答弁** 小島都市局副局長

もう1車線追加する拡幅を計画している。この拡幅により、ロータリーに進入

する自動車交通の円滑化を図ることができる。

**再質問** 植中雅子

個人の所有地やロータリー西側の駐車場を、市が取得することは考えているか。

**答弁** 小島都市局副局長

谷上駅周辺は、神戸市が所有するまとまった活用可能な土地がない。神戸電鉄をはじめ地権者の土地は、現状は駐車場としての活用が多く、エリアの魅力向上や活性化のためには、こういった土地の有効活用が必要である。現在、地権者との定期的な面談で、意向確認を行っている。特に神戸電鉄に対し、駐車場として利用されている土地の高度利用について、継続的に協議を行っている。土地利用転換のための、機運の醸成と地域ニーズの掘り起こしを進めていく必要がある。引き続き、土地の有効活用に向け、地権者への働きかけを続けていく。

**要望** 植中雅子

谷上のまちづくりは、地域住民の意識を高めていくことが大事だ。コロナ前には都市局との意見交換会が開かれていたが、現在は中断している。消防車や救急車が入れるようなまちづくりを、都市局からもプッシュ型で積極的に地域の人に呼びかけていただき、前へ進めていただきたい。

## ③ 地域コミュニティ交通について

### 淡河町のゾーンバスについて

**要望** 植中雅子

三木市、淡河町、八多町、道場町、三田市を結んで運行し、高校生の通学手段としても使われている神姫バス三木三田線が、令和6年10月から運休する。淡河町は今年度、神戸市の補助を受け、5人乗りの普通乗用車を2台購入し、地域コミュニティ交通として淡河町ゾーンバスを地域団体主体で運行している。神姫バス運休の情報が、もっと早く地域に伝わってれば、小さい車ではなく、子供たち、学生が乗れる大型車の導入を検討したという苦情を聞いている。利用状況をしっかりと調査し、必要であれば、9人乗りのバンなどの購入も改めて考えていただきたい。

### 青葉台・柏尾台の地域コミュニティ交通について

**質問** 植中雅子

青葉台・柏尾台地域コミュニティ交通の試験運行実施について、取り組み状況と今後の見通しをお伺いしたい。

**答弁** 白井都市局部長

試験運行での1日の50人が難しければ、デマンド型(予約に応じて運行する形態)での運行など、この地域の需要に最も合った形を試験運行を通じて見極めたい。

## ① 適切な管理が行われていない空き家について

**質問** 植中雅子

適切な管理ができていない空き家は、日々増加傾向にあり、根本的に解決するより、まず発生を抑制する取り組みが大事である。具体的にどのように進んでいるのか。

**答弁** 根岸建築住宅局長

使える空き家・空き地については、売却、賃貸、地域利用などの活用を促し、使えない空き家は解体し、跡地の活用を促進する。発生抑制については、空き家所有者へのダイレクトメールや固定資産税の納税通知書にチラシを同封したり、すまいるネットの空き家活用の相談窓口にご案内している。令和5年12月に施行された改正空家特措法では、住まなくなった家を放置していると、固定資産税が約3倍にという文言を使い、積極的に広報啓発に取り組んできた。空き家の増加を抑制するために、活用や市場流通等に取り組む4民間事業者との連携も含め、活用促進の取り組みを始めた。

**再質問** 植中雅子

解決に向けて、弁護士を含む特命チームを新設するということだが、どのような効果を期待されているのか。

**答弁** 根岸建築住宅局長

財産管理制度(土地や建物の管理が不適当な場合や、所有者の所在ないしは相続人が不明な場合に、裁判所が選任した財産管理人が当事者に代わって財産の保存や処分を行う制度)を活用し、専門的な法知識を有する弁護士を含めた特命チームを、新年度に新設したい。

## ② 迷惑空き家について

**質問** 植中雅子

迷惑空き家の解決への指導の段階がかなり長い。もっとスピーディーにやるという考えはないか。

**答弁** 東建築住宅局部長

「勧告を行う」「命令を行う」「代執行を行う」を個別に判断している。著しく危険が切迫し、周辺の安全を守るためには命令して代執行で除却するのがふさわしいものは行う。

**再質問** 植中雅子

迷惑空き家は、神戸市にどれぐらいあるのか。

**答弁** 東建築住宅局部長

毎年、空き家・空き地については600件ほど通報があり、指導中の空き家が、約770件ある。



**再質問** 植中雅子

緊急性がない、倒壊のおそれもない、大した迷惑をかけないとすると、この770件はこのままの状況ということか。

**答弁** 東建築住宅局部長

4民間事業者との連携によって様々な選択肢が増える。来年度から特命チームを作って、所有者が不明な案件、危険な案件については財産管理制度を活用して改善していきたい。

## ③ 住宅確保の要配慮者への空き家活用について

**質問** 植中雅子

生活困窮しながらも、生活保護の恩恵を受けずに、自分で働いて頑張っている高齢者もたくさんいる。空き家を活用するのにシェアハウスという形はどうか。

**答弁** 片野建築住宅局副局長

住宅コストの低減メリットが明らかなので、注目をしている。実態としては思うように入居者が集まらず、入居者同士のトラブルなど、困難な事例もある。

住んでみたいという利用者の需要がどの程度あるのかを踏まえた上で、どのような対応ができるのか今後も研究していきたい。

**要望** 植中雅子

一番大事なのは独り暮らしの方たちの見守りができる。小さな家族として暮らすことは大変心強い。1つ成功すると次々できると思うので、先例を作っていただきたい。

## ④ こうべぐらしの応援補助金、「住みかえーる」について

**質問** 植中雅子

令和6年度から、親子世帯の近居、同居、住み替え補助に力を入れている。令和4年度にも若年夫婦、子育て世代の住み替えを応援することによって、よりよい住環境の確保や市内への定住、転入を促進することをコンセプトに制度を再構築してきた。制度の再構築を実施するに至った背景や取り組みの目的についてご見解をお伺いしたい。

**答弁** 根岸建築住宅局長

市外から西北部への6区への維持を目的とした「神戸移住型」と、郊外団地に多いエレベーターが4階建て以上の住棟の活用を目的とした「団地活用型」の2つを進めた。なかなか補助実績との間に明確な相関が確認できず、移住促進効果については限定的であったが、親子近居、同居については、全制度利用者の3割以上を占めた。令和6年度は、施策効果の高かった親子近居、同居、ないしは団地活用型に絞った上で拡充する。



## 1 移住・定住について

### 【質問】 植中雅子

こうべぐらしコンシェルジュ、地域おこし隊、地域コーディネーターと様々な名称の職員を配置しているが、移住希望者が実際に引っ越してくる際、住宅確保などについては具体的にどのような成果を上げているのか。



### 【答弁】 保科地域協働局副局長

「地域おこし隊」は、北区、西区の農村・里山地域の活性化を目的に、兵庫県外からの移住者が隊員となり、最長3年間、地域の活性化や地域力の維持・強化に資する活動を行っている。「地域コーディネーター」は、持続可能な地域コミュニティを実現していくため、多様な活動主体と地域をつなげるコーディネートを行っている。「こうべぐらしコンシェルジュ」は、市内への住み替えや移住を検討されている相談者の方一人ひとりに寄り添って、ライフスタイルやニーズに合わせて地域や暮らし、支援制度に関する情報を提供している。住宅の紹介を求められた際には、移住促進のための情報サイト「こうべぐらし」に掲載している、兵庫県宅地建物取引協会や全日本不動産協会兵庫本部の物件情報サイトを紹介するなど、関係機関と連携しながら個別の対応を行っている。

### 【再質問】 植中雅子

田舎暮らしを望まれる方が多いが、住宅の市場流通数が圧倒的に少ない。安く手に入れやすい所という希望があるが、地域の人と人との信頼感を背景にした紹介がないとできにくいという状況があるがどうか。

### 【答弁】 保科地域協働局副局長

経済観光局での具体的な取り組みとして、平成28年5月に、「神戸・里山暮らし空家バンク」を開業し、空き家所有者の意向に沿って売却、賃貸の物件をホームページで紹介している。令和4年度までの約7年間で85件の掲載があった。令和4年度からは、地域の事情に精通する自治会などの地域団体を、里山・農村版空き家おこし協力隊として委嘱し、空き家バンクへの掲載を推進している。令和6年1月末時点で、農村定住促進コーディネーターがサポートした件数は88件になっている。北区・西区の農村里山エリアは、都心部からのアクセスが30分程度の立地で、かやぶき民家や田畑がまとまって存在する農村の美しい景観が残っている、都市と農村の両面を持った珍しい地域だ。農村定住促進コーディネーターとコンシェルジュが協力して、一人でも多くの移住者を受け入れていきたい。

## 2 区役所の委託について

### 【質問】 植中雅子

令和3年度より兵庫区と北神区の市民課、保険年金医療課、令和5年度からは長田区市民課、西市区市民課での外部委託化を開始しているが、委託の効果をどう評価し、今後の展開をどう考えているか。

### 【答弁】 増田地域協働局長

窓口委託の評価については、一概に評価が難しく、先行実施区の兵庫と北神の区役所においては、窓口での待ち時間は、令和3年度の委託当初より改善してきている。来庁者のアンケートにおいても、接遇面などで高い評価を得ており、当初想定していた市民サービスの水準は確保できると認識している。この委託の拡大に向

けて、当初想定した以上に委託人件費の高騰が続いており、今後、安定的に委託を実施することが難しいと判断し、他区展開については見送る。兵庫、北神、長田、西の4つの区役所については、それぞれの契約更新時期において、委託人件費の水準やDX化の進展による業務改善の状況も踏まえ、業者の公募を実施するかどうかの判断をしていきたい。

### 【再質問】 植中雅子

前へ進めたが、委託期限が切れる時期にシステムを変えていくということか。

### 【答弁】 増田地域協働局長

兵庫と北神区役所の契約については、令和7年9月までとなっている。その時点で委託を継続するかどうかを判断していきたい。

### 【再質問】 植中雅子

区役所窓口の民間委託を実施しないとしても、今後もスリムで持続可能な体制で業務を継続していかなければならない。民間事業者も人材確保が課題と聞かすが、神戸市の職員に地域の方々を採用して働いてもらうことで、地域住民の行政の仕組みの理解も進み、地域経済の循環も期待できる。直営の区役所を維持するのであれば、地域人材の活用も考えてはどうか。

### 【答弁】 増田地域協働局長

民間人材の活用は、新たに雇用する従事者は可能な限り神戸市内に居住する者を優先的に採用するよう求めている。現在約8割の従事者が神戸市内に居住をしていると聞いている。

## 3 各出張所の体制について

### 【質問】 植中雅子

久元市長が、特に地域とのつながり強化を重要視し、連絡所を出張所に格上げし、局長経験者を所長に抜擢され、そして地域活性化の担当係長を配置されて、地域のさらなる活性化や積極的な地域支援の強化を推進する試みは、非常に評価している。各出張所で戸籍や住民票の発行業務をしているが、それだけでは配置されている体制に対して業務量が見合っていないのではないか。もっと積極的に、外に向かって働きかける仕組みをつくっていくべきではないか。

### 【答弁】 増田地域協働局長

各出張所は所長のほか数名の担当職員が配置をされている。現在取り扱う業務は、証明発行などの窓口業務、自治会やふれあいのまちづくり協議会、消防団といった地域団体との連絡調整をはじめとする、まちづくり業務の役割を担っている。証明発行件数はコンビニ交付の導入などにより減少傾向にあるが、買い物の支援やゾーンパスの運行拡充による利便性の向上、交流人口増加に向けた情報発信など、地域の意見・要望を直接聞きながら、地域活性化の取り組みを進めている。業務量に応じた適正な人員体制の構築は非常に重要だ。出張所で行うべき行政サービスとその適正な執行体制については、各地域の実情や、本区との役割分担も十分考慮しながら、引き続き検討を進めていきたい。

### 【要望】 植中雅子

コンビニ交付の手数料は、窓口の約半額で、利用可能時間も長い。昼休みには、交代で窓口のサービスをしたらいかがか。地域に積極的に働きかけていると言われたが、それが目に見えていないし、定着していない。地域へ向かって、地域の中の出張所だという意識を持って、住民に臨んでいただきたい。

### 【要望】 植中雅子

NPO団体の不正受給については、しっかりとチェックし指導していただきたい。

## お知らせ



### 阪神高速神戸三田線の渋滞緩和のための社会実験

#### 五社ランプからの乗り入れが可能になりました。

令和5年9月27日の決算特別委員会で要望しておりました、阪神高速神戸三田線の渋滞緩和のための、料金割引の社会実験適用区間が、これまでの「からと西ランプ」から、乗り入れがしやすい「五社ランプ」に延長になりました。

五社ランプから都心ランプへは、200円割引が適用され、660円で通行可能となります。

#### 実験内容

- 実施期間  
令和5年4月17日～令和6年度も継続
- 対象時間  
平日午前6時～10時
- 対象車種  
普通車、軽自動車、自動二輪車(ETCに限る)  
上記時間に対象ランプの入口を通過する車両

#### 渋滞の状況

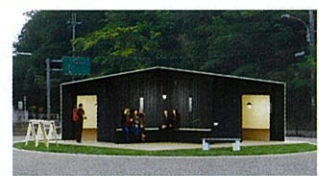


対象ランプ	料金		差額
	普通車料金 実験前	実験中	
都心4ランプ⇄箕谷	550円	550円	変更なし
都心4ランプ⇄藍那	700円	600円	100円減
都心4ランプ⇄からと西	690円	590円	100円減
都心4ランプ⇄五社	860円	660円	200円減

都心4ランプは国道2号、二宮、神若、新神戸駅

### 自然休養村管理センター跡地に休憩キャビンを設置

神戸登山プロジェクトの一環として、令和5年9月27日の決算特別委員会で、建設局へ要望しておりました、自然休養村管理センター跡地(衝原湖付近)に、シャワー・トイレを完備した休憩キャビンを設置予定となりました。(経済観光局)



### 山田小学校前バス停に風よけシートを整備

地域のご要望により、山田小学校前バス停に、谷から吹き上げる風を防ぐための風よけシートを設置しました。(建設局)

